

# 資料1

## コロナ対応の「みえモデル」 (前半戦)

三重県知事 鈴木 英敬

令和2年7月13日  
三重県経営戦略会議



# 三重県内の感染者数の推移

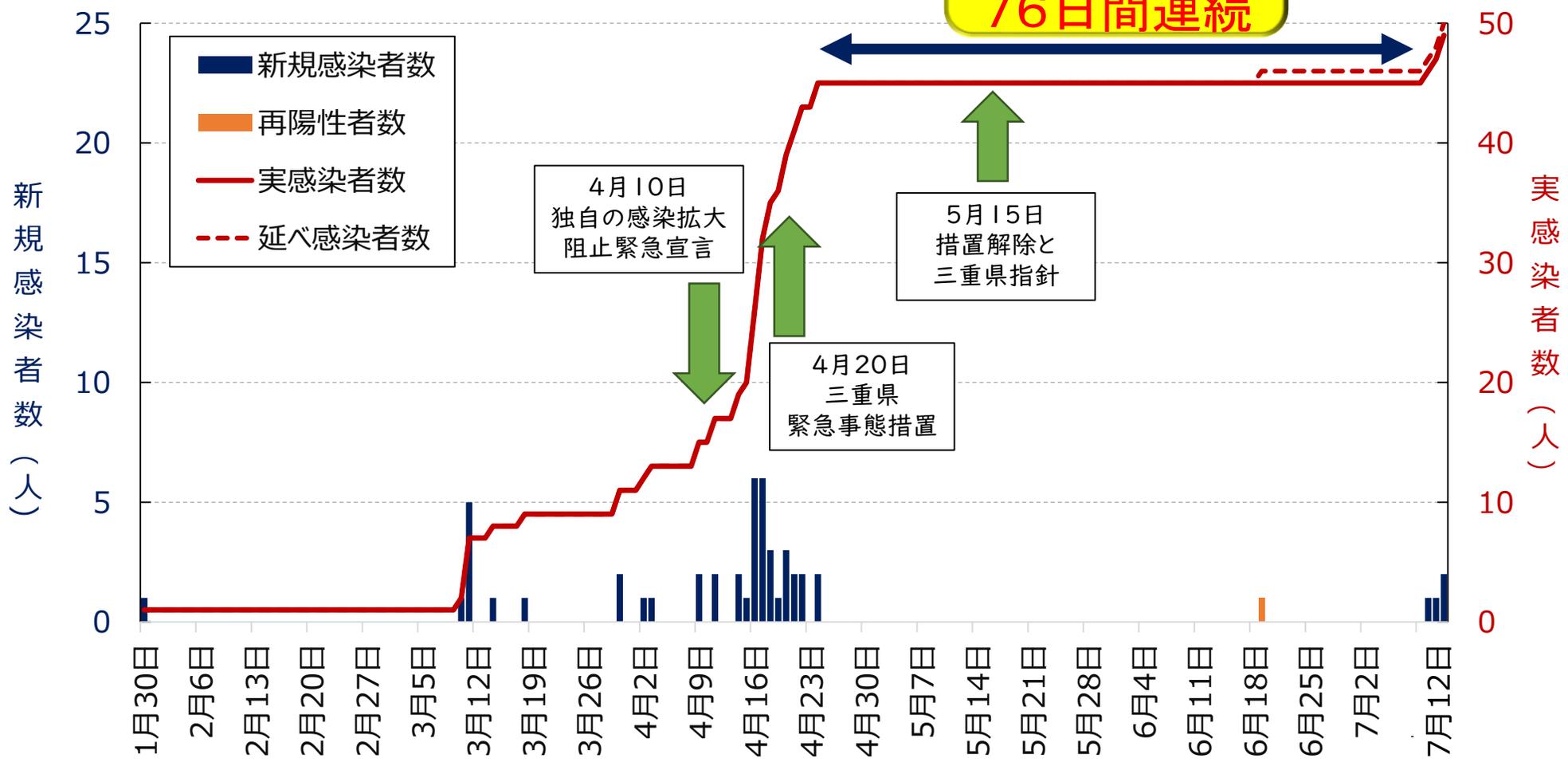
☑患者数の累計は**49人**※延べ50人

中部・北陸・近畿で**最小**

☑人口10万人あたり**2.8人**(低い方から11番目)※7月12日時点

☑死亡者1人 / 重症者0人

新規感染者**0**  
4/25~7/9  
**76日間連続**



# 「オール三重」による協力

## 県外からの来訪者を減少させる取組

- ・宿泊施設における予約の延期
- ・県外からの訪問客が多い遊漁船・釣り堀などの自主的な休業
- ・伊勢神宮ではGW期間中、対前年減少率が全国主要観光地で最大（96.9% ↘）

## 市町の皆様のご協力

- ・独自の対策（水道料金の免除、県外からの来訪自粛の呼びかけ、需要喚起、応援金など）
- ・県と協調した三重県新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金

## 休業要請のご協力

- ・幅広い業種の皆様が休業にご協力
- ・パチンコ店においては全国でいち早く県内全店舗で休業

## 医療関係の皆様のご協力

- ・感染リスクを顧みず、迅速なPCR検査へのご協力など感染拡大防止に向けた医療体制のご提供
- ・県民が安心して医療を受けられるよう、感染対策を徹底したうえでの医療体制のご提供

## 県民の皆様のご行動変容

- ・県内における人の移動の減少
- ・百貨店・スーパーにおける販売額（3月速報値）の伸びは東海3県で最大（3.5% ↗）

それぞれの立場から感染拡大防止への最大限のご協力に感謝!

# “命”と“経済”の両立をめざす「みえモデル」

## みえ県民カビジョン・第三次行動計画(R2~R5)

三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会

コロナショック

社会の変化

「場所」の制約から解放

「新しい生活様式」

経済活動の停滞

感染症・人口集中リスク

分断と軋轢の発生

(3/13) 緊急経済対策 (4/22) 緊急総合対策

### 第1ステージ

感染拡大阻止と  
経済の危機回避

#### 貫く視点

- ① デジタル・トランスフォーメーション
- ② 三重の強みの活用
- ③ 一極集中リスクの軽減と地方創生
- ④ SDGsの推進

#### みんつく予算の活用

令和3年度予算において  
対策のアイデアを募集

(5/29) みえモデル

再加速

第2ステージ  
感染症収束と  
経済回復の両立

“Revitalize”  
再活性化

- 医療・検査体制の強化
- 雇用の維持・確保
- 資金繰り・事業継続支援
- 中小企業のBCP策定
- 分断と軋轢からの脱却
- テレワーク など

第3ステージ  
新たな日常の創造と  
未来への進化

“Go Forward”  
前進

- サプライチェーン改革
- ワークেশョン
- 未来技術の社会実装
- STEAM教育の実践
- 新たな観光スタイルの構築 など

下支え(再び経済を止めない)

「再活性化」と「前進」をささえる「医療」

第2波に備えた医療提供体制を万全のものにしなければ、経済再生への道は開けない

- 今回の教訓を踏まえた今後の道標の策定(「三重県感染症対策条例(仮称)」制定、「三重県新型インフルエンザ等対策行動計画」「三重県感染症予防計画」改定) など

病床(軽症者等向け宿泊療養施設を含む)を十分に確保 → **低い病床利用率**



## 第1ステージ: 病床等の確保

感染症指定病床 **24床**  
一般病床(追加確保) | **50床程度**  
+  
軽症者等向け宿泊療養施設 **64室**  
(スポーツマンハウス鈴鹿)  
**計約240床(室)**を確保

当初の約10倍

**ピーク時でも低い**

入院患者数 / 病床数 = 病床利用率  
ピーク時(4月24日) | **7.3%**

患者受入ルールの作成  
**各基礎疾患・患者特性等**  
(透析、精神、周産期、小児等)に応じ、  
**地域ごとに受入体制を整備**



## 第2ステージ: 一般診療との両立

感染症患者の診察と一般診療の両立に向けた医療提供体制

**感染拡大期**

感染拡大に備えて、病床を十分に確保

継続的な医療の提供

**小康期**

救急医療などの通常医療の確保  
+  
いつでも即時受入れ可能な病床を確保

**両立**

**24床+α**

感染拡大の兆候があれば、  
迅速に感染拡大期に移行

## 第3ステージ: 平時における受入体制の強化

新たな感染症の発生に備えた、一般病床における受入体制を平時から整備!

感染症指定病床(24床)を超えた病床確保のための制度が必要

**県独自**

**感染症協力病床(仮称)の創設**を検討(24床+αを目安)

# みえモデル(前半戦含む) ①の特徴 ～ (2)感染状況に応じた**宿泊療養施設の確保**

これまでの直接借り上げ方式から、感染状況に応じ、**速やかに施設を確保できる新たな仕組み**を構築

新たな感染症への備えとして、**民間事業者との協定**により施設を確保する**新たな制度の創設**を検討

## 第1ステージ: 感染拡大への対応

### 直接借り上げ方式

- 個別の宿泊施設と契約し、施設を一棟丸ごと借り上げ



スポーツマンハウス鈴鹿  
・部屋数: 64室  
・運用開始: 5月1日～

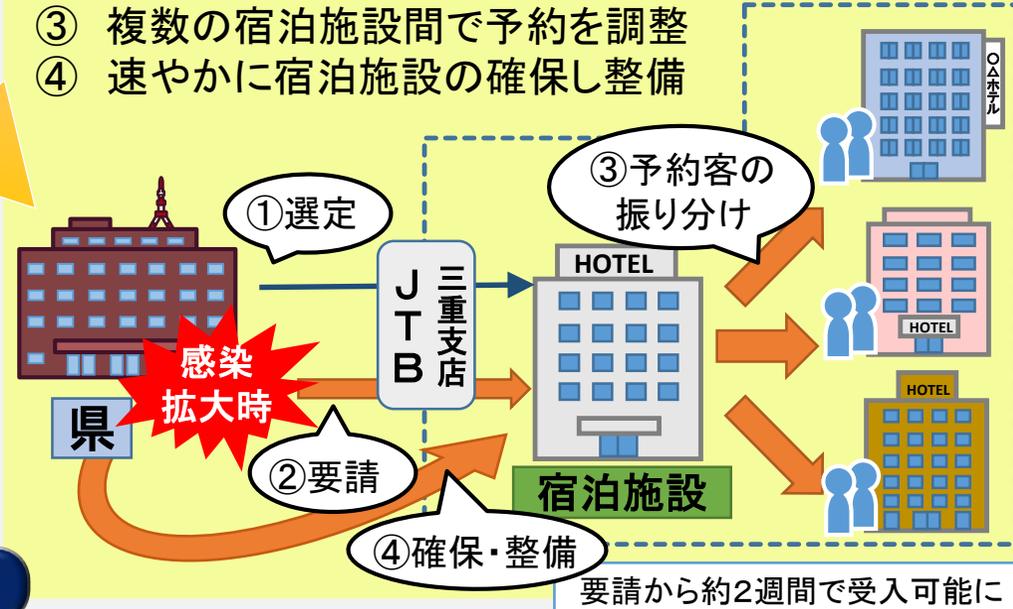
➡ これまで実際の受入は発生していない  
↓  
より効率的な宿泊療養施設の確保方法が必要

## 第2ステージ: 第2波への対応

### 新たな仕組みの構築

約100室の確保に目途

- ① 事前に宿泊施設の候補を選定
- ② 感染状況に応じて施設の確保を要請
- ③ 複数の宿泊施設間で予約を調整
- ④ 速やかに宿泊施設の確保し整備



## 第3ステージ: 新たな感染症発生時への備え

### 新たな制度の創設を検討(新たな仕組みの制度化)

- 民間事業者と協定を締結し、「感染症協力宿泊施設(仮称)」をリストアップ
- 感染症発生時には協定により宿泊施設を確保

➡ 新たな感染症発生時にも対応可能な平時の備えに

# みえモデル(前半戦含む)の特徴②～徹底した「PCR検査」「接触者調査」「ケース管理」

## 感染源や広がりの特定

- ☑ 早期に、クラスターが発生していなくても  
**県独自のクラスター対策Gを派遣。** ➡ 「接触者調査」を徹底。
- ☑ 「PCR検査」を徹底。陽性率は2%を切る水準【**低い陽性率**】
- ☑ 「ケース管理」を徹底。新規の感染案件は、ほぼ全て知事会見



### 陽性率(7月12日時点)

陽性者数  
 延べ **50人**

検査件数 = **3,084件**

**陽性率 1.6%**

他に陰性確認検査 **243件**

1日最大実績 **122件** 陰性確認検査含む

5月に入って  
 から 更に

- ◇ 三重県保健環境研究所の人員を増強
- ◇ PCR検査機器(1台)を増設
- ◇ 民間医療機関のPCR検査機器導入を支援
- ◇ 地域外来・検査センター(PCR外来)の設置

【例】〇〇歳代 女性、〇〇市在住、無職  
 〇月〇日 発熱(37台)  
 〇月〇日 医療機関A受診  
 普段から公共交通機関の利用なし  
 日常的にマスク使用  
 発症後は自宅待機  
 濃厚接触者は家族のみ  
 医療機関Aのスタッフも念のためPCR検査

# みえモデルの特徴②～PCR検査体制の強化

濃厚接触者については、速やかに陽性者を発見する観点から、すべて検査対象(5/29より)

## 検査実施機関

- 保健環境研究所
- 三重大学医学部附属病院、三重病院
- 保険適用による民間検査機関

県では1例目から、濃厚接触者に対しては、健康観察に加え、**無症状であっても積極的にPCR検査を行い、早期発見・拡大防止に努めてきたところ**

検査実施機関、検査体制の増強に加え、新たな検査方法の導入により、検査を必要とする方が迅速にPCR検査等を受けられるよう、PCR検査体制を強化

## 第2ステージ

- ☑各郡市医師会や地元自治体等とも連携しながら、PCR検査を集中的に実施する  
**「地域外来・検査センター」を10カ所程度をめぐりに設置**

## 第3ステージ

- ☑関係団体とも連携しながら、PCR検査を行うことができる**人材を育成し、緊急時の応援体制を事前に確立**
- ☑新たな感染症の発生時に、ドライブスルー、ウォークスルー方式を含め、**多数の検体採取を迅速かつ正確に行えるよう、継続的に訓練を実施**

# みえモデル(前半戦含む)の特徴③～早期のアラート(注意喚起)

## 感染確認前から組織 県民への呼びかけ

危機管理は「初動」が重要

1月27日 愛知県での確認(国内4例目)を受け、知事トップの緊急部長会議  
庁内体制整備。県民へ知事メッセージを发出  
(1月30日 県内1例目の確認。政府の対策本部設置)



## 移動自粛をいち早く呼びかけ

3月30日 年度替わりの往来増加を考慮し、8都道府県への移動自粛を呼びかけ  
4月 7日 政府が緊急事態宣言を7都府県に发出  
直ちに対象都府県への移動自粛を呼びかけ



4月10日 三重県独自の「感染拡大阻止緊急宣言」  
まだ感染者数15名の段階  
東海3県で一致して发出

## クラスターの予防・対応

4月17日 県内でクラスターが発生する前の段階からクラスター対策グループを編成・投入

## 第2波を未然に防ぐための指標

基準を超えれば「措置の強化」や「独自の宣言」も

5月5日 県独自の「措置強化の判断基準」を提示

◇ 新規感染事例数	直近5日間 3件
◇ 新規感染者数	直近5日間10人
◇ 入院患者数	20人

病床利用率は12%で、愛知県(34%)、岐阜県(17%)と比べても厳しい水準に設定

◇ PCR検査件数、PCR検査陽性率、感染経路不明者数など

# みえモデル(前半戦含む)の特徴④～差別・偏見・デマ拡散への対策

SNS等において、**憶測によるデマや誤った情報の拡散、個人や企業への誹謗中傷**等が見受けられる



☑県民への呼びかけには、必ず人権尊重を盛り込む

☑4月24日には 単独で知事メッセージを发出

- ・互いに傷つけあっても意味がない
- ・「オール三重」で一致団結しなければならないところに亀裂を生じさせ、無用な分断を生んでしまう

**ネットパトロール**  
(教育委員会)

5/15～大幅に強化  
年15日 ➡ **毎日**

インターネット上の学校名の入った書き込みを監視  
内容に応じて**リスク評価** ➡ 早期に対応

**新型コロナウイルス感染症対策に関する人権相談**

○三重県人権センター相談窓口  
**TEL:059-233-5500**  
**9:00~17:00 ※土日、祝日を含む毎日**

## 全国放送 多数



**陽性者が差別を受けた事に抗議**  
(写真は4/24 TBS「爆報!THEフライデー」)

## スーパーで店内放送

知事による人権メッセージの音源を、  
県内の66店舗店内放送

**「イオン」「イオンスタイル」** 20店舗  
5月9日～31日 30分に1回

**「マックスバリュ」「ミセススマート」** 46店舗  
5月16日～31日 60~90分に1回

# みえモデル(前半戦含む)の特徴⑤～感染傾向(県外由来)をふまえた独自の対策

## 8都道府県への移動自粛の依頼

3/30

年度替わりの往来増加を考慮 ⇒いち早く8都府県への移動自粛を呼びかけ

## パチンコへの休業要請

いち早く4/25にすべての店舗が休業

5月5日に発表した「『三重県緊急事態措置』ver.2」においても、他府県の状態を踏まえ、引き続きパチンコ店への休業要請を継続

## 宿泊予約延期協力金

4/20に制度創設

計643件(6/25完了)  
約7,600万円

宿泊事業者を対象に予約延期やキャンセルした宿泊予約の数に応じて協力金を交付

## 来県延期協力金

468件(7/7時点)  
約4,600万円

釣りやキャンプ等を目的とした観光客の予約を延期等いただく事業者に対して協力金を交付



伊勢神宮におけるGW期間中の対前年減少率が全国主要観光地で最大(▲96.9%)

# みえモデル(前半戦含む)の特徴⑥～早期かつきめ細かな経済支援

- ・ 国に先駆け、矢継ぎ早に金融支援！ 融資枠(90億円 ⇒ 362億円 ⇒ **2,512億円**)
- ・ 融資ではない形でいち早く資金を届ける補助金を創設！ 国の持続化給付金に先駆けて支援！

## リフレッシュ資金の要件緩和！

事業者にも少しでも早く資金を届けるため、改正

## セーフティネット資金の保証料無料化！

信用保証協会保証承諾額 **1,557億** (7/6時点)

リーマンショック時の負担率(0.5%)を大きく下回る0.2%まで引き下げ。さらに、より業況の厳しい事業者の声に応え、保証料負担を無料化

事業者負担 **0.6% ⇒ 0.2% ⇒ 無料**

## 新型コロナウイルス感染症対応資金の創設！

新たに**2,000億円**の追加融資枠を確保

リーマンショック時の**1.5倍!**

- 当初3年間実質無利子化
- 保証料ゼロ
- 据置期間最大5年以内
- 経営者保証の免除

## 創業・再挑戦アシスト借換資金の創設！

借入中の創業・再挑戦アシスト資金の返済負担を軽減  
据置期間最大**2年** 「創業前」「創業間もない」事業者

## 三重県経営向上支援新型コロナ危機対応補助金

【三重県版経営向上計画連携型】  
県独自の補助金(上限100万円)

予算規模**10億円**  
(さらに増額)

「融資ではない形」「いち早く」

4月中の入金を希望する事業者には全額概算払い

【感染防止対策型】

事業継続にあたり、感染防止対策が喫緊の課題となっている事業者を支援(上限10万円)

休業要請の有無にかかわらず全ての業種が対象

- ✓ 有効求人倍率の下げ幅(1-3月)は、東海三県で三重県が**最小**に！
- ✓ 倒産件数(2-4月)は、東海三県で三重県だけが**増加せず**！
- ✓ 百貨店・スーパー販売額の伸び(1-3月)は東海三県で**最大**(4.2%)

# みえモデル(前半戦含む)の特徴⑦～きめ細やかなSNS活用

皆さんもフォローをお願いします！

## 知事Facebook・Twitter

新規感染者発生事例、協力金などの独自支援策 など

**マイクロ・コミュニケーション戦略**

立場が違えば不安も異なる

行動変容を促すには、きめ細かな対応が必要

**要望やメッセージに、個別に返答**

## 三重県公式(@koho\_mie)

STAY HOMEのため、「家で出来る三重弁講座」を投稿

- 知事Twitterフォロワー数: **4.3万人** ⇒ **6.1万人** **1.4倍**
- 三重県公式Twitterフォロワー数: **0.35万人** ⇒ **1.2万人**
- 専門家によるツイッター活用状況 **A** 評価<sup>※1</sup>
- 報道機関に取り上げていただく<sup>※2</sup>

**3.4倍**



※1 鶴野充茂「緊急事態宣言後の47都道府県オンライン広報力の格差を何とかしたい」YAHOO!JAPANニュース 2020年4月24日

※2 「コロナ禍でフォロワー急増 三重県庁の担当者は考えた」朝日新聞DIGITAL 2020年5月1日

同内容の記事は5月10日に朝日新聞の朝刊にも再掲「三重県 アットホームなつぶやき」

# みえモデル(前半戦含む)の特徴⑧～民間リソースをフル活用(1)

## ヤフー(株)ビッグデータ活用

曜日・時間帯ごとの各地区の  
**人の流れを把握し、対策に活用**

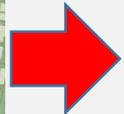
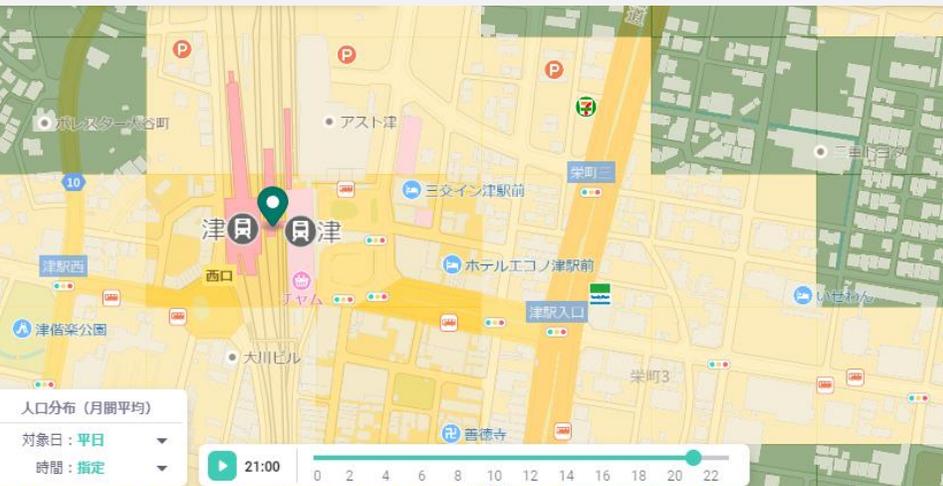
**無償協力 全国初！(4/9)**



85%の都道府県・政令指定都市が利用

2019年5月平日(21時~22時)

2020年5月平日(21時~22時)



© Mapbox © OpenStreetMap  
© 2020 ZENRIN CO.LTD.(Z19LE第1533号) © Yahoo Japan

**人流の減少を視覚的に把握!**

## 三重県LINE公式アカウント 「三重県-新型コロナ対策パーソナルサポート」

■ 3月24日から開設 (全国で5番目)

■ 友だち登録者数

約85,000人 (7月8日現在)

■ 活用

- ・ 県の方針や緊急事態措置の内容等を タイムリーにメッセージ配信
- ・ アンケート結果は学術機関により分析され、症状のある方が多い地域などを把握可能



有症者分布図の  
サンプル

# みえモデル(前半戦含む)の特徴⑧～民間リソースをフル活用(3)

民間企業に患者やPCR検体の搬送業務を委託

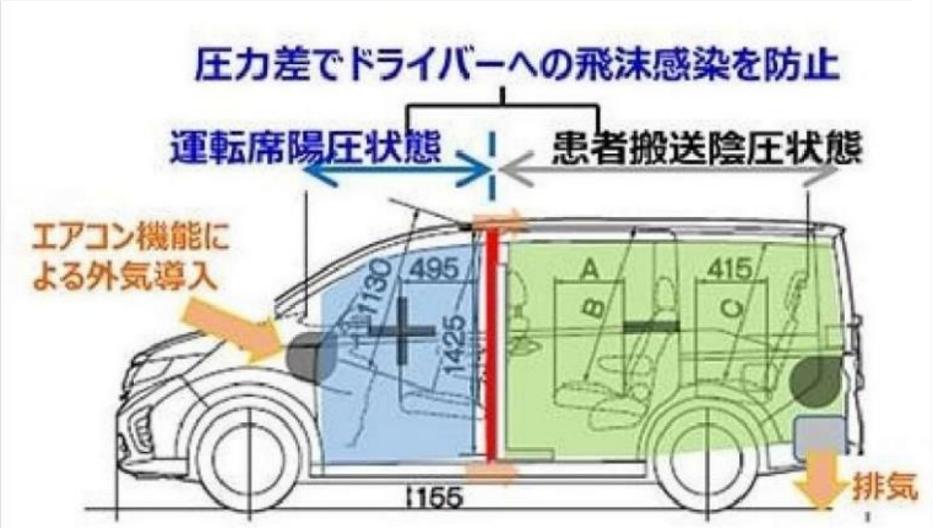
☑保健所等の**負担軽減**

☑保健所職員が、相談対応、検査や接触者対応、医療機関との調整などに、より注力

## 本田技研工業(株) 鈴鹿製作所

- ・**専用の仕立て車の貸与** Honda ステップワゴン スパーダ 4台
- ・**県公用車の改造** Honda ステップワゴン 5台

8保健所に1台ずつ配備  
宿泊療養施設用に1台配備



車内(運転席と後部座席の仕切り)

## 三重交通(株)

- ・新型コロナウイルス感染症患者(軽症者・無症状者)の搬送業務
- ・PCR検体の輸送業務

# みえモデル(前半戦含む)の特徴⑧～民間リソースをフル活用(4)

## ECサイトやテレビショッピングを活用し、事業者を支援

### 民間企業のECサイトとの連携

- ・百五銀行や三重県観光連盟と連携し、「観光三重」のECサイト「**三重の逸品百貨店**」を活用した県産品購入促進キャンペーン(抽選で5,000円相当の県産品を200名にプレゼント)を展開(5/8～7/8)。



- ・JR東海ECサイト「いいもの探訪」で三重産品応援フェア(県産品は1,000円を値引き)を展開(5/8～5/31)

JR東海がSNSで発信する三重県動画も好調!

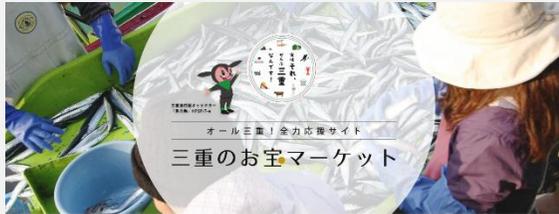


三重	約52万回
静岡	約7万回
愛知	約6万回
岐阜	約5千回

- ・三十三総研のECサイト「リージョネット三重」と「オール三重! 全力応援サイト三重のお宝マーケット」が相互リンク

### ECポータルサイトでの販促キャンペーン

- ・通販ポータルサイト「オール三重! 全力応援サイト 三重のお宝マーケット」を5/12に開設
- ・県内事業者ECサイト(7/6現在で192事業者)が商品を登録
- ・三重テラスECサイトや農林水産部「みえ地物一番まごころ広場」とも連携した官民連携販促キャンペーンを実施(7月以降)



### テレビショッピングでの販促

ジャパネットたかた「生活者応援プロジェクト」の第一弾として、三重県を特集(4/22、5/28)



松阪牛、真鯛、熊野地鶏を販売したところ、大反響!